

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市児島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖 180 番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤 徳久
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「利用者にあった適切な支援の実施状況について」を重視して評価した。</p> <p>利用者に対する適切な支援を行うため、増加している虐待や成年後見制度申し立てなどの困難ケースに対しても、関係機関等からの情報収集・情報共有に努めながら対応している点は評価できる。</p> <p>また、利用者の意見を踏まえ、サロン活動の日程を変更するなど、臨機応変な対応で多くの利用者に参加してもらうための工夫を行っている点も評価できる。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業については、障がい者（児）及びその家族等が住み慣れた地域の中で生活できるよう、面談や電話のほか、訪問等により、障がい者等の生活支援を行った。 ・相談件数は昨年度に比べて減少しているが、障がい者虐待や親亡き後を見据えた成年後見制度申し立てなど解決に時間がかかるケースが増えている。 ・関係機関等との連携にも力を入れ、積極的に情報収集・情報共有を行い、必要に応じてケア会議を開催した。 ・サロン活動については利用者の声を受けて、できるだけ多くの利用者が参加できるように曜日を変更するなどの工夫を行った。心ほっとサポーターにボランティアとして参加いただき、利用者と地域の方との交流の場になっている。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策については保健師を中心に、利用者への対応、職員の健康管理や感染症予防研修を実施した。 ・「児島はばたきふれあい祭り」を 3 年ぶりに実施した。模擬店の商品をすべて持ち帰りにしたり、来場者が密にならない会 	

	場レイアウトをするなど工夫をして実施した。
(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・95%以上の利用者が事業内容や職員の接遇等に、概ね満足している。 ・アンケート結果については、別紙のとおり。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績		今年度	前年度	特記事項（前年比）	
	施設利用者	14,762 人	14,584 人	101 %	
	相談支援	面接相談	2,462 件	3,051 件	81 %
		電話相談	8,082 件	8,218 件	98 %
		家庭訪問	588 件	730 件	81 %
		同行	62 件	89 件	70 %
		ケア会議	121 件	133 件	91 %
	相談支援合計	11,315 件	12,221 件	93 %	
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 日常生活支援 (2) 在宅福祉サービスの利用援助 (3) 相談・情報提供 (4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 (5) 地域交流・啓発活動 (6) 障がい者及び家族等の地域生活の支援 				

4 収支（児島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	38,574 千円		
	市からの指定管理料（委託料）	35,767 千円		
	利用料金	2,435 千円		
	その他の収入	372 千円		
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	35,469 千円		
	主な支出	人件費	25,136 千円	
		光熱水費	2,083 千円	
		修繕料	36 千円	
		備品購入費	0 千円	
		消耗品費	438 千円	
		施設管理委託費	966 千円	
その他経費	6,810 千円			